

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

1 月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ インフルエンザ：2件（前月比2.0、前年比0.0）でした。令和2年の11月、12月は1件、令和3年の1月は2件であり、例年よりも著しく低い値で推移しています。今シーズンの流行入りは見られていません。しかしながら、これまで、インフルエンザは毎年の流行を繰り返しているため、今後の発生動向に注意を払う必要はあります。

小児科定点

（全体傾向）

1,997件（前月比0.56、前年比0.23）であり、前月比、前年比ともに著しく低下しています。前年比の低下はインフルエンザ2件（前月比2.0、前年比0.0）の影響を大きく受けています。感染性胃腸炎1,282件（前月比0.5、前年比0.9）の占める割合が高く、64%でした。RSウイルス感染症172件（前月比3.7、前年比4.6）と前月比、前年比ともに上昇しており、今後の発生動向に注意が必要です。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症：172件（前月比3.7、前年比4.6）であり、前月比、前年比ともに上昇しています。昨年の11月から連続して上昇しており、今後の発生動向に注意が必要です。菊池（8.20）、有明（6.40）が高くなっています。
2. 咽頭結膜熱：47件（前月比0.5、前年比0.4）でした。前月比、前年比ともに低下しています。昨年の5月からは前年比が低い値で推移しています。
3. A群溶連菌咽頭炎：110件（前月比0.8、前年比0.2）でした。前月比、前年比ともに低下しています。特に前年比は0.2と著しく低下しています。昨年の2月からは前年比が低い値で推移しています。
4. 感染性胃腸炎：1,282件（前月比0.5、前年比0.9）でした。発生数は昨年の8月からはゆるやかに増加しながら、前年より低い値で推移していました。12月には大きく増加し、前年並みのピーク（2,720件）を認めましたが、1月には前月比0.5となり、発生数は減少に転じています。熊本県下で広く流行しており、阿蘇（3.00）以外では、2桁の発生数となっています。
5. 水痘：21件（前月比0.4、前年比0.2）でした。前月比、前年比ともに著しく低下しています。
6. 手足口病：50件（前月比0.3、前年比0.3）でした。前月比、前年比ともに著しく低下しています。この1年間はピークを認めることなく、低い値で推移しています。
7. 伝染性紅斑：1件（前月比0.3、前年比0.0）でした。昨年の5月より前年比が著しく低い値で推移しており、昨年の6月から一桁の発生数が続いています。
8. 突発性発疹：140件（前月比0.9、前年比1.4）でした。前年比は上昇していますが、前月比は大きな変化はなく、例年と同様に推移しているようです。
9. ヘルパンギーナ：3件（前月比0.2、前年比0.1）でした。昨年の8月をピークとして、その後は連続して減少しています。1月は最近1年間で最低値でした。
10. 流行性耳下腺炎：6件（前月比0.8、前年比0.4）でした。前年比は0.4と著しく低下しています。昨年1年間は明らかなピークを認めることなく、低い値で推移しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 23 件(前月比 0.9、前年同月比 0.4)と減少しています。熊本 22 件、菊池 1 件の報告です。年齢別では 20～29 歳、40～49 歳で半数を占めています。

STD 定点

1. 性器クラミジア感染症：
報告数72件(前月比1.4、前年同月比1.2)で、前月比、前年同月比とも増加しています。男女別は、男性に48件と多く、女性は24件でした。年齢別では、男性は15～64歳と幅広い年代に、女性は15～39歳にみられています。地区別は、熊本市が58件と圧倒的に多く、次いで有明で9件、御船と人吉は各2件、宇城が1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数19件(前月比0.9、前年同月比0.9)で、前月比、前年同月比共に微減しています。男女別は、男性が10件、女性は9件でした。年齢別では、男性が25～64歳、女性は20～54歳にみられています。地区別は、熊本市が14件と多く、八代が2件、菊池、御船、宇城が各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は6件(前月比1.0、前年同月比0.5)で、前年同月比で半減しています。男女別では、全6件が男性でした。年齢別では20歳～49歳にみられています。地区別では、全6例が熊本市でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は24件(前月比1.3、前年同月比1.6)で、前月比、前年前月比ともに増加しています。男女別では、男性が21件で、女性は3件でした。年齢別では男性は15～59歳に、女性は20～24歳でした。地区別は、熊本市が17件で、有明が4件、宇城が2件、御船が1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数は17件(前月比：1.2、前年同月比：0.7、男女比：11/6)で例年並みです。熊本(9)、人吉(3)、山鹿・水俣(2)、阿蘇(1)でした。年齢分布としては70歳以上(8)、60～69歳(5)と高齢者に多く、一方で0～4歳(3)と二峰性でした。
▼昨年並みの報告数でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-、男女比：-/-)で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-、男女比：-/-)で報告はありませんでした。
▼例年同様にほぼ報告はありません。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数です。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は1件（前月比：1.0、前年同月比：-）で散発的な報告になります。熊本(1)で35-39歳(1)でした。
▼例年並みの報告数です。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数です。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数は1件（前月比：-、前年同月比：0.3）で散発的な報告になります。熊本(1)で1-4歳(1)でした。
▼例年並みの報告数です。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	8件
3類感染症	： 報告はありませんでした。	
4類感染症	： 報告はありませんでした。	
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2件
	： 侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	： 梅毒	7件
	： 百日咳	3件
指定感染症	： 新型コロナウイルス感染症	1,377件